

「健康と社会セミナー」 & JAGESワークショップに参加してきました！

JAGES主催の「健康と社会セミナー」に参加してきました。

セミナーは、11/29に東京駅近くのAP 東京八重洲通りで行われました。午前
は、厚生労働省、国土交通省の方から健康施策やまちづくりに関する昨今の話題
の紹介がありました。JAGES に関係する研究者の先生方からの発表も続き、健康
の社会的決定要因に関する国の動向から研究の最先端の情報を得ることができま
した。特に、保健・介護関係の学術セミナーに国土交通省の方が来て、まちづく
りの話をされたことには、とても意義を感じました。人の健康を考えると、社
会や環境を変えていかなくてはいけない、という時代が現実となったことを実感
した出来事でした。

午後は、楽しみにしていた Ichiro Kawachi 先生（ハーバード大学公衆衛生大
学院教授）の特別講演「ソーシャルキャピタルを生かした健康づくり」を聴講し
ました。ソーシャルキャピタルの基本から、昨今の最新の研究事情までを盛り込
んだ、詳しくも分かりやすい、そして何ととっても”面白い”講義でした。
Ichiro先生の講義には毎回、何かしらのインスピレーションをもらいます。今回
も、大いに刺激を受けることができました。いただいたヒントを活かして、きち
んと論文を書くことで結果を残し、恩返しができると思います。（菅蒲川記）



写真：ざっくばらんに質問に答える Ichiro Kawachi 教授（2014. 11. 29）

健康と社会セミナーに引き続き、11月30日にAP 東京八重洲通りで行われたJAGESワークショップに参加してきました。このワークショップは、JAGESプロジェクトの貴重なデータを、皆の知恵と力を出し合って、どんどん論文化していこう！という近藤克則先生らの発案で始まったプランです。私は事前に参加申込みをしたのですが、なんと、アドバイザーとしての参加となりました。

ワークショップには、JAGES研究会に参加したことがない方々を含め、若い研究者や研修医・総合医の先生、そして、企業に勤めながらも研究を志しているような方もいらっしゃり、とにかく熱気にあふれたワークショップとなりました。

はじめに、JAGES初心者向けに近藤克則先生（千葉大学）よりプロジェクトの概要説明があり、続いて相田潤先生（東北大学）よりソーシャルキャピタルについての基本の説明、そして、近藤尚己先生（東京大学）よりよい研究計画の立て方というレクチャーがあり、それだけでも十分に来た甲斐があるという濃い内容でした。



写真：表彰式の一コマ、Ichiro先生も嬉しそうです。

その後、8つのグループに分かれ、それぞれ、6~7人ずつで研究計画を練りました。各自がそれぞれの興味で研究計画を立てるため、なかなかまとまらないグループもありました。私が担当したグループもなかなかまとまらず、どうなることかと思いましたが、最後には何とかかなり、ホッとしました。

計画は、中間発表と最終発表の2回発表し、Ichiro Kawaci 教授（ハーバード大学公衆衛生大学院）のコメントをもらいながら進めるという贅沢なものでした。

今回のワークショップで、研究デザインの大切さ、モデルを組む際に注意しなくてはならない細かい点を学ぶことができました。今まで、研究会では何となく見過ごしていたような細かい点が実は疫学研究には大事だと言うことがよく分かりました。アドバイザーとして出席しましたが、反対に皆から刺激を受け、勉強になり、最高の経験でした。担当した班は、最後に優秀賞をもらいました！

ちなみに、医学研究実習で JAGES データ（新潟市）を使って研究した学生さんも飛び入り参加することができ、積極的に意見を述べていました。

（菅蒲川記）